

産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例

豊田ケミカルエンジニアリング株式会社

安全衛生情報では会員各社へ伺い、社内における安全衛生の具体的な取組事例をご紹介しています。

今回ご協力いただきました会員企業は、平成29年7月20日発行「循環あいち」104号にて取材にご協力いただきました「豊田ケミカルエンジニアリング株式会社」（代表取締役社長 林由浩氏）です。

昭和48年国内初の本格的最大規模を誇る廃油再生、産業廃棄物焼却処理工場をスタート。設備は設立当初より公害を発生させないように設計され、特に工場排水は循環回収して再使用するクローズドシステムを採用し、環境保全を最大の課題とする経営姿勢は現在まで連綿と引き継がれています。

今回愛知県に緊急事態宣言が発出され、2月9日開催の「安全大会」が中止となりました。大会にて事例発表を担当される予定であった同社の安全活動について今号で紹介をさせていただきます。

豊田ケミカルエンジニアリングにおける 安全活動について

令和3年2月9日

豊田ケミカルエンジニアリング株式会社



●安全衛生委員会の開催／毎月

常時使用する労働者が、業種により定められた人数以上がいる事業所では設置することが法で定められています。

コ-ポレート部安全推進
グループ 小坂哲郎氏

中央：コ-ポレート部安全推進
グループリーダー 高木満則氏
右：コ-ポレート部安全推進
グループ 石川美奈氏

●労働安全衛生マネジメント(OSHMS)の運用

(Occupational Safety and Health Management System)

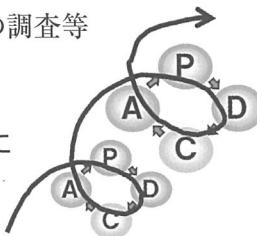
労働災害の防止と、事業場における安全衛生水準の向上に資することを目的とした安全衛生管理の仕組み。

- ・任意の活動
- ・平成16年8月にJISHA方式適格OSHMS認定を取得し、以後運用を継続。

<OSHMSの特徴>

- (1) PDCAサイクル構造の自律的システム
- (2) 手順化、明文化及び記録化
- (3) 危険性又は有害性等の調査等
- (4) 全社的な推進体制

スパイラル状に
レベルアップ



●安全大会／年1回

同社へ納入、構内作業、及び業務依頼を行っている協力会社の方々に集まつていただき安全に関する情報の共有を行っている。

●オーバーホール安全大会／年2回

比較的大きな作業となる焼却炉（2炉）のオーバーホール時は、作業に則した内容で安全大会を開催。

●防災訓練／年1回

地震を想定した避難訓練及び消火訓練を行っています。

各グループでは土嚢を積むなどの訓練も行う。

●AED取扱教育・BCP訓練

AEDの取扱教育を行い、災害への意識付け

を行っています。

また、災害発生後の業務復旧計画の机上訓練も実施しております。

どこに調達があるのか、各グループは本番さながらに机上で訓練を行う。

◆協力会社における準重大災害

平成26年9月煙道ダクト12mからの墜落災害が発生し、肺挫傷／右多発骨折の重傷（幸い重大災害には至らず）

この災害を教訓として・・・

「豊ケミセイティPJ」発足（平成26年11月）

3つの観点から、平成26年11月より、安全活動を開始（6ヶ月を1クール、現在も継続中）

・構内作業（通常操業における作業）

・外注工事作業（設備工事作業）

・請負作業（トヨタG等における請負作業）



請負作業協力会社＝豊環俱楽部と共に安全活動

主要協力会社8社で構成

●取り組みのあらまし

平成26年：準重大災害発生→調査実施：現状を知る→PJ立ち上げ
環境事故多発→PJで取り組み開始

平成27年：KYトレーナー養成、KY各社実施。
この取り組みは継続中。

平成28年：協力会社のルール充実化
日常の危険性について、
・見えるようになる・指摘できるようになる
・作業ルールの共通化
を目的に、「交通ハザードマップ」を作成

平成29年：作業要領書作成→要領書、遵守確認実施

平成30年：ハザードマップ作成
・協力会社のルール充実化



AED取扱教育



安全大会



消火訓練

重複を除いても97件の危険箇所が挙げられた。

危険が見つけられるようになり、かつ、それを示すことができるようになってきた。

◆現在の取り組み

・担当先の引取状況の把握

客先での状況を弊社担当者が出向き、チェックリストにて状況確認を実施

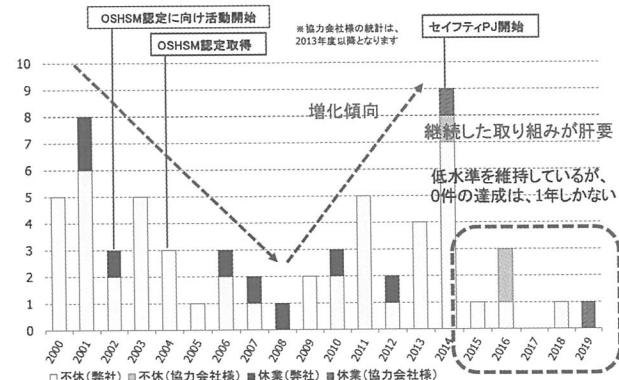
・指差呼称の実施確認

弊社構内・客先構内にて、日頃より推進している指差呼称の実施状況を確認

・協力会社との情報共有

協力会社の安全会議への参加
情報共有のための会議の開催

同社構内における労働災害の推移



協力会社のルール充実化 ハザードマップ



※緊急事態宣言下ということもあり、リモートにての取材にご協力いただきありがとうございました。(2/22)